

令和4年度事業報告書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

社会福祉法人 こばと会

保育部門

保育のテーマ 心理的安全性と理念の徹底

全園通じて年間の保育テーマを上記の通り設定した。

職員が有機的につながりを高め、より連携の取れた保育を目指すためには、エビデンスある内容の統一理解とともに、まずはそれぞれの認識が違う前提に立つ必要がある。それぞれの違いを理解したうえで何がどう違うのかを共有することにより、それがエビデンスとの整合性を迎え入れ、よりチームとしての共通理解が進んでいくと想定してのことであった。

そのため、ウェルビーイングの考え方を研修で施し、そこから心的安全性を高める重要性と具体的な内容を各クラス、園として設定しながら保育を進めていった。

結果として、一定程度進捗はあったもののそれぞれの心理的安全性を具体的にすることは難しく具体的な手立てを後半になって考えていく際に、改めて理念に基づきながら心理的安全性の意味を深めることが重要なのではないかと想定し、理念の振り返りを各クラスごとに毎週行い、発表する形に切り替えた。こうすることによりクラスコーディネーターの力を借りながら、それぞれのクラスの課題点や成長点をクラスコーディネーター自身が見分けることにつながり、その課題点を共有しながら、次の職員会議で共有を深める作業を行っていくことができ、年間を通して心理的な安全性を自分たちで打ち立てていく作業を実施、評価できることとなった。

また、この流れは令和5年度にも引き続き沸き起こっていて、クラスコーディネーターの意識情勢にとっても役立っている。保育内容だけではなく、職員関係、保護者との信頼関係を気づき上げる工夫等いくつもの局面に生かされ始めることができている。

年度ごとに切り替えることなく、継続していくことが重要なテーマでもある。今年度の実践を土台に、より深まりのある連携が職員相互から保護者へと伝達し、それが地域へと広がっていく形となるよう実践を継続していきたい。

研修・講習

上記の通り研修を展開。また、コンサルティングを継続して実施。

多摩市保育協議会の研修に積極的な参加する。島田療育センターの作業療法士の専門的研修を年間を通し企画運営した。

園内研修	理事長研修 こぼと単独 あおぞら、ばれっと、ルームは合同
講師派遣	島田療育センター コンサルティング（可能性コンサルタント 深代氏）
職員派遣	多摩市保育協議会研修（東京都キャリアアップ研修含） コダーイ芸術研究所（体育、わらべうた）

令和4年度 こぼと第一保育園事業報告

都営多摩ニュータウン諏訪団地の建て替え工事と多摩市全体の少子化による応募総数の減少による定員設定の見直しのため、利用定員を199名から170名に減少した。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続いたが、今まで行っていた内容の見直しをするきっかけになり、感染症対策を行いながら状況に合わせて活動や行事の見直しをたてた。

一時預かり事業を休止し、地域ルームの拠点を諏訪名店街リパティ2階に移して、「子育て支援ルーム」を開催している。

環境評価スケールを継続して行う中で、保育についての共通認識や項目に沿っての目線合わせの機会になっている。園内研修を通して、職員一人ひとりの成長にも繋げていきたいと思う。

クラスリーダーの家庭の事情や体調不良での休みが重なり、人員配置については年間を通して職員間で連携しながら日々クラス運営を行ったが、調整が難しく紹介会社と派遣会社から非常勤職員を採用して対応した。

育児困難家庭については、関係機関と連携をとり、子ども家庭支援センターには毎月書面で家庭の状況を共有していたが、情報提供していた児童が、保育園から保護になった。

(1) 施設の状況

(イ) 園児数

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	10	22	31	35	36	36	170
目安定員	9	18	30	33	34	35	159
3月	9	20	29	32	35	36	161

(ロ) 常勤職員 園長、主任保育士、栄養士、看護師、事務各1名

保育士 19名、調理員3名 合計27名

(ハ) 開所時間

11時間保育 午前7時～午後6時

延長保育 午後6時～午後8時

(2) 児童の処遇

(イ) 在籍児童

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5才	35	35	35	35	36	36	35	35	35	36	36	36	425
4才	34	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	419
3才	33	33	33	33	33	33	32	32	32	32	32	32	390
2才	30	30	30	30	30	29	28	29	29	29	29	29	352
1才	18	18	18	18	20	20	20	20	20	20	20	20	232
0才	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
合計	159	160	160	160	163	162	159	160	160	161	161	161	1926

乳児保育

生活の基本となる育児面では、「育児担当制」をとり入れて子ども達が安心して過ごせるように、丁寧な育児をする中で、精神的なよりどころになれるように心がけた。
人との関わりや心の育ちの基本的な素地を養うために職員間で理念に基づいて連携して保育を行った。環境評価スケールは、同じクラスで2回行う中で、経過を追ってより具体的に話しができたことでクラス間や年齢で共通認識できる機会になった。

幼児保育

3, 4 歳児クラスは、年齢の枠にとらわれず、個々の発達を大切に保育を行った。それぞれに発達速度や個性の違いがあり、興味や要求も様々である。お互いの違いを認め暖かい雰囲気の中で一人ひとりが大事にされることによって優しさや思いやりの気持ちが芽生えるように人間関係の素地作りを大切に考えて保育を行った。

5 歳児クラスは、就学に向けての取り組みも大切に考えて活動を行った。

新型コロナウイルス感染症の影響で学校との連携が行えていなかったが、1, 2 年生と交流をもつことができたことは年長児にとって入学に気持ちが高まる体験になった。

子ども達一人ひとりがもっている力を十分に発揮でき、自分で考えて行動できるように、環境作りや玩具についても工夫することを心がけた。

園だより

クラス毎に、毎月発行している「園だより」を「乳児クラス通信」「幼児クラス通信」とし、繋がりがもてるように、年間のテーマを決めて発行した。

月	乳児クラス	幼児クラス
4月	・クラスのお友達、担任紹介	
5月	・年齢ごとに保育園での一日の流れ	
6月	・手作りおもちゃの紹介 ・噛みつきって・・・？	・体幹について
7.8月	・食事(スプーン・おはし) について (スプーンの持ち方の配慮やポイント)	
9月	・体幹ってなに？	・目について
10月	・散歩	・10の姿
11月	・0歳から2歳までのこどもたちの姿	・動画で上げた体幹についての解説
12月	・わらべうた	
1月	・指先あそび	・手先を使うあそび
2月	・トイレトレーニング	・アート ・お茶の稽古
3月	・大きくなったね	・楽しかったこと

(ホ) 保健管理

- 6月 歯科検診
- 10月 視力検査
- 11月 手洗い指導
- 2月 聴力検査
- 毎月 健康診断(園医 江崎勝一医師)
- 毎月 身体測定
- 毎月 布団乾燥

(ト) 安全管理

- 毎月 避難訓練

(チ) 保護者会

- 4月 9月 2月

(リ) 一日体験入園

中止

(ヌ) 行事

4月	入園を祝う会	10月	運動会(幼児クラス)
	保護者会(対面中止)		秋の遠足
5月	春の遠足(3.4才)		多摩動物公園(幼児)
	防災引き渡し訓練		芋ほり(年中・年長)
6月	歯科検診	12月	子ども会(幼児クラス)
	お泊り会(年長)	1月	新年子ども会
	プール開き	2月	保護者会(年齢ごと)
7月	夏の子どもまつり(子どものみ)	3月	ひなまつり
9月	保護者会(対面中止)	3月	卒園を祝う会
			進級

毎月の行事 誕生会・造形指導・お茶の稽古

(3) 職員の待遇

(イ) 健康管理

- ・健康診断 (田村クリニック)
- ・検便 給食担当者、0才担任・・・毎月

(ロ) 労務管理

- ・社会保険に加入
- ・退職金(福祉医療機構・東京都社会福祉協議会に加入)

(ハ) 待遇

- ・就業規則により処遇

(ニ) 福利厚生

- ・職員健診

(ホ) 職員の動き

- ・産休・育休 原美夏、上杉彩子

令和4年度こぼと第一保育園保健事業報告

病欠について

令和4年度の病欠者は、900名であった。病欠率としては46.6%で過去10年間の中では平成25年度に次いで多い状況であった(右表参照)。このように多かったのは、以下のような原因が考えられるかと思われる。

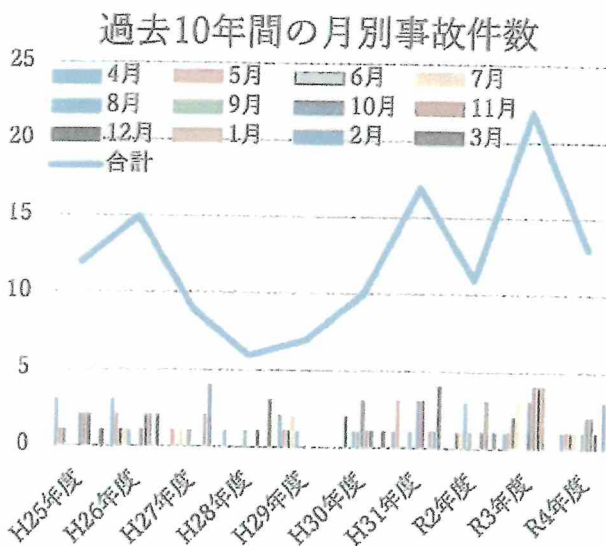
1. 4月当初に学級閉鎖があったものの、それ以降コロナ感染症が増えても学級閉鎖は無く、6月以外は毎月発症している状況で、園児だけでも年間で68人も発症したと。

2. 自粛期間なども無いので、登園者数が以前のように戻ったが、職員数は減ってしまった。その中で職員も家族や本人の病休が入り以前のような余裕が無く、発症者が出てもクラス単位で保育することは難しかった。その為、朝や夕方、時には日中など年齢間で合同になる時間帯があり、密になることが多かった。

3. 7月には、園児のマスクを外す一斉メールを法人全体で配信した。その前から不明熱が目立ち6/27から保健所へ連絡を続けていたが、マスクを外すことで昨年度病欠者が少なかった幼児クラスでも、ヒトメタニューモウイルスやコロナウイルス等が流行してしまい、数日1/3しか出席者がいないという幼児クラスもあった。消毒や換気など感染対策をしても減らないので、マスクや自粛の協力を願ってやっと病欠者が減り、8/26をもって保健所への連絡を終了することが出来た。

以上のようなことが、要因となり病欠者が増えたのかと思われる。このことから、マスクや蜜を減らすことは、感染リスクを減らすことに有効だということが立証された。令和5年度からはコロナ感染症も第5類となり、今までのように何日間もお休みする人や濃厚接触者が休むということはなくなっていくかと思われる。今後も感染症が流行したら出来る限り接触クラスを減らしたり咳エチケットをしていってもらったり等して、マニュアルに沿っての感染対策を皆で協力して実施していきたいと思う。

事故報告



令和4年度は13件の事故報告があった。昨年度に比べて9件も少ない事故報告であった。しかし、1ヶ月を超える通院をする怪我が3件も発症してしまった。それも4月5月に1件ずつしか無かったのに、その1件ずつが1ヶ月を超える怪我であり、1件は消費者庁のホームページに載ってしまった。その怪我はドアに指をはさんでしまったの骨折であった。その再発防止策として子どもが開閉しないことがベストだが、コロナ禍なので換気中、ドアを開けている時間を作っていたし続けなければいけなかった。その為、根本のドアにクッション材を装着したかったが、ホームセンターではその幅広いクッション材が売っていなかったため、業者依頼したが「クッション材を入れても意味がない。ドアを変えるべきだ」と言われ、そのような予算が取れ



なかったので、換気をしている時はドアストッパーをはさみドアが閉まらないようにした。

また11月に起きてしまった1ヶ月を超える怪我は、園庭の斜面で転んでしまったの鎖骨骨折であった。ボールに気を取られて斜面に気付かなかったようである。以前からその斜面で足を捻ったり転倒して骨折してしまう怪我が発生していて、砂を撤入して段差を減らしても雨風等で芝生がある所とない所

の間に段差が出来てしまい、倉庫裏から土を撤入したが数ヶ月もたない状況であった。現在はタイヤを並べ段差を意識出来るようにしているが、タイヤで遊びたい子達が動かしてしまうので、セットしては遊んでまたセットするという状況である。それでも、タイヤを敷き詰めてからは段差で怪我をするということがなくなった。以上のように、職員一同で協力して知恵や力を出し合うことで、昨年度より事故発生を減らすことが出来た。



令和4年度研修

今年度はほぼ毎月、保健衛生会議を実施することが出来た。その中で以下のことを話し合うことが出来た。また、事故予防や感染対策の点検、研修でも以下のような結果が得られた。

1. 新年度当初に気を付けることの再確認や特有の病気を持っている子の病気や症状について共有した。
2. 年度途中で午睡中痙攣発作を起こす子がいたので、痙攣中の動画を共有して対応などを話し合った。
3. 感染予防対策について話し合った。また手洗いチェックをしたり、オムツ交換や嘔吐処理の手技について研修を行った(右記写真参照)
4. I期毎に安全マップ(事故報告やヒヤリハットに載せる程でもない小さな怪我の報告、再発防止策)の集計をして再発防止策等の共有をした。またヒヤリハットや事故報告についても共有し再発防止策を共有した。



5. プールが始まる前に、注意点などを再確認することが出来た。
6. 睡眠中や食事中、その他誤飲・誤嚥・窒息防止について再確認をすることが出来た。
7. バス置き去り事件を受け、事故防止マニュアルを一部改訂、皆で共有した。
8. ストレスチェックを実施しての結果を共有した。
9. 帝京大学と連携して体について年長児へお話しをすることが出来た(左記写真参照)。

10. カスタマーハラスメントの研修を受け伝えることで、皆で共有し、こぼれとして困っていることなど話し合った。
11. 数年ぶりに救命講習を受けることが出来(右写真参照)、クラス内で発生した場合の動きについても話し合うことも出来た。
12. 毎月の安全点検で危険な箇所があった場合は、自分達で修理したり、業者へ依頼して安全対策を続けた。
13. 感染予防対策についても毎月クラス毎にチェックをして、気を付けていった。
14. 法人保健部会を開催でき、各園で実施していることを共有したり、今後始めることなどを話し合い、共通認識の下に実施することが出来た。

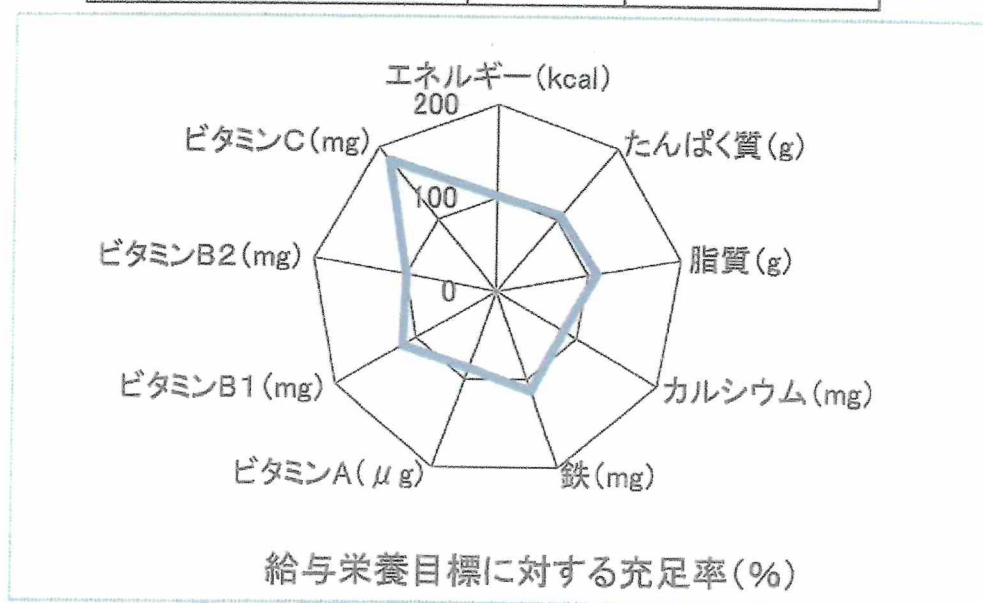


栄養管理報告

- 日本人の食事摂取基準(2020年版)に基づき、お昼は一日全体の1/3量+おやつは一日15%程度として各栄養素の給与栄養目標量を算出した。

3歳以上児	給与栄養目標量	R4.4~R5.3平均充足率(%)
エネルギー(kcal)	574	102
たんぱく質(g)	21.5	106
脂質(g)	19.1	110
カルシウム(mg)	259	84
鉄(mg)	2.4	113
ビタミンA(μ g)	202	87
ビタミンB ₁ (mg)	0.31	117
ビタミンB ₂ (mg)	0.36	99
ビタミンC(mg)	18	182

炭水化物エネルギー比(%)	55	52
脂肪エネルギー比(%)	30	33



- エネルギー・たんぱく質・脂質は、目標量を満たしており、三大栄養素(炭水化物・たんぱく質・脂質)のバランスはおおむねとれていた。
- カルシウム、ビタミンAに関してやや不足したが、8~9割は満たしていた。
- 低身長・低体重児への対応として、1歳児クラスでは、おやつに常に牛乳を提供し、たんぱく質・カルシウム等を多く摂取できるようにした。
- カルシウム、鉄を多く含む煮干し粉をみそ汁の時のだし汁に加えるなどした。

給食活動

献立・調理

・個人対応…(1歳児)入園時、偏食がちで食が進まない子どもに、炊き込みご飯の時、白いご飯を、ジャムサンドの時、何も塗らないパンを用意し、徐々に食べられるようになっていった。

…(2歳児)手でつまんで食べるなどの練習のため、平皿を用意。

…(2歳児)スプーン使いの補助のため、幼児のおかず皿を用意。

…(4歳児)前歯の治療のため、前歯で噛みちぎりが必要な物はカットして提供。

・NPO法人風のがっこう、菊池農場よりあおぞら保育園、あおぞらぱれっと保育園と共に北海道の野菜を給食に使用した。色味の違うナスやトマト、新鮮なトウモロコシ、あまり馴染みのないヤーコンなどを子ども達に食べてもらう機会となった。

・主な新メニュー…

・紅茶クッキー・ワカメと野菜のこうじ和え(甘酒、塩こうじを使用)・あずきちゃん(あんこのケーキ)・カオモックガイ(カレー味のタイごはん・ターメリックライスにタンドリーチキン、甘酢で和えた野菜を盛り合わせて)・空心菜のにんにく炒め(中華料理に使われる空心菜・小松菜やほうれん草の代わりに夏が旬の空心菜を使用)・ヤーコンのきんぴら、ヤーコンのスティックサラダ、キーマカレー、レンズ豆のスープ、タプーリサラダ(サッカーのワールドカップ・カタール杯にちなみ、中東の献立を子ども達に食べやすくアレンジして)・きりたんぽスープ(秋田県郷土料理)・中華蒸しケーキ(黒糖味)・イエローピラフ(誕生会)

行事食・食育

・月毎に、旬の食材や行事食を食育のテーマに取り上げて、献立実施の前に主に幼児クラスの子ども達へ伝えた。

4月たけのこ御飯(生筍)、5月まめクイズ(グリンピース・そら豆・スナックえんどう・いんげん)、6月夏野菜

7月おはしの練習(年長)9月よくかんで食べよう・食べる時の姿勢(年少中)、食事バランスガイド(年長)

10月いも・きのこ類、11月さんまの塩焼き(骨のある魚の食べ方)、12月冬野菜(年少中)・鏡もち(年長)

1月 七草がゆ(春の七草)、2月豆まき(鬼ハンバーグ・恵方巻)、3月ひなまつり(はまぐりの潮汁)、

年長さんリクエストメニュー

・クッキング…幼児は芋掘りの後、さつまいものバター焼きを実施した。お泊り会ではおやつにフルーチェ作りを楽しんだ。

アレルギー 令和4年度は、卵・乳・ナッツ類に関して3～4名に対応した。ヒヤリハット・誤食は共に発生しなかった。(1名は～7月まで・1名は8月～2月まで・1名は12月～のべ5名)

会議・衛生・防災対策

・食べ方の気になる子どもの情報交換と対応について

・幼児クラスの夏野菜栽培&クッキングはコロナ感染症対応のため、2年ほど見合わせていたが、大人が衛生的に調理し、給食の時に(パーテーション越しに)食べる等の対応をとり、今年度はトマト・きゅうり・ピーマンを栽培した。

・第三者評価のシート記入のため、食事の時の環境設定について各クラスより聞き取りを行い、振り返り・年齢間の共有になった。

・ノロウィルスの検査を11月～2月の間実施し、全て陰性であった。

・5月 引き渡し訓練…非常食の入れ替えを無駄の出ないように献立に取り入れたり、配布や発注などを行った。

令和4年度 あおぞら保育園事業報告

(1)施設の状況

(イ)園児数

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	10	16	20	24	25	25	120
目安定員	10	16	20	27	27	27	127
3月	10	16	20	23	27	27	123

(ロ)常勤職員 園長、副園長、栄養士、保健師、事務各1名

副主任保育士2名、保育士2 合計29名

(ハ)開所時間

11時間保育 午前7時～午後6時

延長保育 午後6時～午後8時

(2)児童の処遇

(イ) 在籍児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5才	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	324
4才	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	324
3才	20	21	21	21	21	21	21	22	22	23	23	23	259
2才	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
1才	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
0才	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
合計	120	121	121	121	121	121	121	122	122	123	123	123	1459

(ハ)しょうがい児数及び名簿

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2歳男児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3歳男児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4歳男児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4歳男児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5歳男児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

(二)一時保育

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
半日	22	13	20	23	15	15	21	28	29	24	37	49	296
一日	82	67	102	104	101	92	88	104	113	123	118	188	1282
	104	80	122	127	116	107	109	132	142	147	155	237	1578

定期利用

定期 3日	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	4	3	13
定期 4日	2	1	1	1	1	2	2	2	3	2	2	3	22
定期 5日	0	1	1	1	1	1	1	1	1	2	3	4	17

(ホ)保健管理

6月 歯科検診

10月 視力検査

毎月 健康診断(園医 江崎勝一医師)

毎月 身体測定

毎月 布団乾燥

(ト)安全管理

毎月 避難訓練

(チ)保護者会

4月 9月 2月

(リ)一日体験入園

中止

(ヌ)行事

4月	入園式、保護者会(各クラスのみ)	11月	
5月	遠足(雨天のため中止)	12月	子ども会(幼児のみ)
6月	お泊り会		くにさん&みかちゃんコンサート
	歯科検診	1月	新年子ども会
7月	プール開き	2月	保護者会
9月	防災引渡訓練		お別れ遠足(年長のみ)
	保護者会(各クラスのみ)		劇団風の子
10月	運動会(東落合小体育館 幼児のみ)	3月	ひな祭り
	遠足		卒園式
			進級

毎月の行事

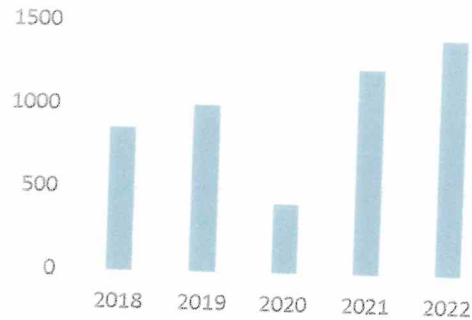
誕生会・アート指導・お茶の稽古・楽しい音楽

保健考察

病欠状況

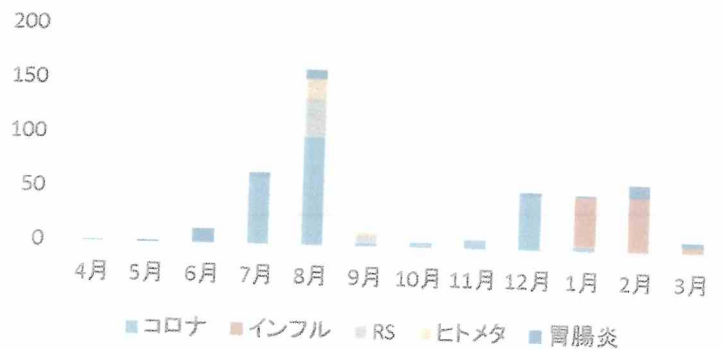
新型コロナウイルスの流行による感染症予防行動により年間の病欠数が2020年度には例年の半数以下に減っていたが昨年度より増加傾向にあった。今年度に関してはさらに増えて1416名となっており、この10年間で最も多い病欠数となった。

年間病欠数



特に新型コロナウイルス第7波中の8月には新型コロナによる病欠数が100名と多くなった。その他新型コロナとの鑑別診断のため検査件数の増えたRSウイルスやヒトメタニューモウイルス等呼吸器系感染症による病欠数も増えている。また、2020年度よりほとんど発症者が出ていなかったインフルエンザが今年度は流行したことが年間病欠数の増加につながったと思われる。

月別感染症病欠数



感染症予防

新型コロナウイルス予防対策についても3年目を迎えかなり定着してきたが引き続き以下の対策を特に重点的に行った。

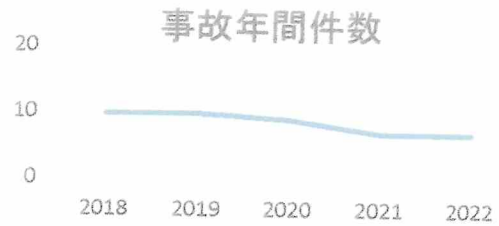
- ・園児と職員の健康管理のため毎日の健康観察チェックシートを活用
- ・園児と職員ともに本人や同居家族の体調不良時は登園を控える
- ・園児の午睡後の全員検温
- ・光触媒ラーフエイドのエアコンフィルター交換

その他、胃腸炎の流行防止のため安全衛生委員会で全職員が参加できるように3回に分けてお粥を吐物に見立てた実践的な吐物処理研修を行った。

日程	参加人数
2022.6.16	8名
2022.6.17	10名
1022.6.20	7名

事故報告

今年度も事故件数は7件と例年と同等程度だったが、重大事故(骨折)が1件あった。7件中重大事故を含めた3件が3月に起きている。年度末でクラス進級のある3月は特に事故予防への対策が重要だと感じた。この中で2件は防犯カメラに事故場面が映っており、後からその時の状況や職員の動きを確認することができた。事故予防のためにも大変参考になる事がわかったため、今後も活用していきたい。



ヒヤリハットに関しては昨年度よりさらに報告件数が多くなっている。

内容としてはケガや異食など未遂のものが多く報告されるようになってきており、限られた職員だけでなく全体に事故防止への意識が向上してきている事を感じる。

未遂である時にしっかりと予防について安全衛生委員会やクラスで話し合う事ができることで実際にケガをしてしまう場面が減っていく事を期待する。ただ、人数確認不足については大きな事故につながる危険があり毎年あがる報告のため気を付けていきたい。

ヒヤリハット件数



ヒヤリハット内容	件数
ケガ(未遂含む)	6
異食(未遂含む)	5
離園	3
クラスの人数確認不足	2
食事誤配食	2
その他	3

事故対策

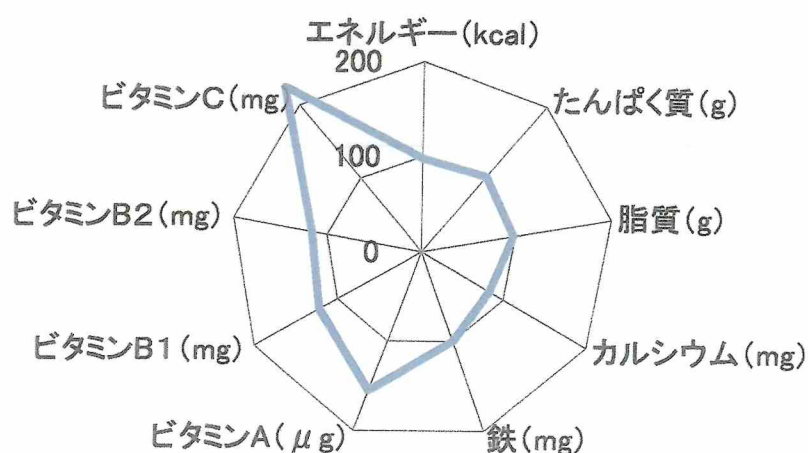
事故予防や万が一事故等が起きた時の対策として安全衛生委員会を中心に職員の知識や意識向上のための活動を行った。

- ・安全衛生委員会にて毎月事故・ヒヤリハット報告を行い予防のための話し合いと周知を行う
- ・各クラスごとに年齢に合わせた事故防止のための安全点検(毎月1回)
- ・心肺蘇生法とAED研修 2022.10.19 講師 国士舘大学防災・救急救助総合研究所 曾根 悦子氏
- ・不審者訓練 2023.1.12 不審者対応訓練(さすまた・ネットランチャーなど) 不審者避難訓練(不審者発見時の避難行動訓練)

栄養管理報告

3歳以上児	給与栄養 目標量	R4.4～R5.3平均 充足率(%)
エネルギー(kcal)	576	98
たんぱく質(g)	21.6	104
脂質(g)	17.9	98
カルシウム(mg)	261	83
鉄(mg)	2.5	100
ビタミンA(μg)	202	155
ビタミンB ₁ (mg)	0.31	122
ビタミンB ₂ (mg)	0.36	116
ビタミンC(mg)	20	225

炭水化物エネルギー比(%)	55	101
脂肪エネルギー比(%)	30	93



給与栄養目標に対する充足率(%)

- ・カルシウムと脂質が不足したが、おおむねバランスよく摂取できた。
- ・おやつに牛乳をつけるときもチーズや煮干しを足し、昼食のフルーツを週1回ヨーグルトに変更してカルシウムを補うようにした。またスープに牛乳、サラダにチーズを入れる等して、以前よりカルシウムを多く含む食材の摂取する機会を増やした。
- ・クラスでは、子どもの食欲、体調により食べる量を大人が調整しているので、数字はあくまでも平均値である。
- ・野菜類を多く取り入れているため、ビタミン類が多くなっている。ビタミンCは悪い過剰症もなく身体に滞在する時間が短いものなので十分に摂取できていることは子どもの為に大事なことなので継続する。
- ・炭水化物エネルギー比、脂肪エネルギー比は、適正であり、三大栄養素(炭水化物・たんぱく質・脂質)のバランスはとれている。

献立

一汁二菜の和食献立を中心に提供した
主菜は乳児は白米・幼児は七つき米で提供している
汁物、副菜に野菜をふんだんに使用し、子どもたちにいろいろな食材を食べてもら
ように献立に組み込んだ
行事食では子ども達に喜んでもらえる内容を検討し試食を行いながら進めていっ
3月は、年長クラスより給食のリクエストをもらい、献立に組み込んだ
日々、子ども達から「きょうもおいしかった」と声をかけてもらえる事もあり、やりがい
感じている
献立表は毎月各家庭に配布している。アレルギー児にも個別対応したものを配布
献立にはないが、遠足や特別な散歩の時など、お菓子を用意した
毎月、各地域の郷土料理を取り入れた

調理

児食、幼児食とで味の塩加減を調整して提供している
サラダや和え物の野菜はスチームコンベクション、釜で対応。
ガス台も調理が重ならずに行えるため、作業がスムーズに行えている
各作業の分担表を作成し、毎日の夕方のミーティング時に
翌日の作業分担などを確認しスムーズに業務を行えるようにした
誕生会のケーキカットは、今年度も引き続き行い、1年に1回の自分の誕生月
の子どもたちは楽しみにしてくれた。
乳児に必要な応じて、離乳食を提供するなど個別対応した。
下痢や口腔疾患なども下痢や口腔疾患なども個別に対応した。
担任の判断によるが、朝食を摂ってこなかった子どもに牛乳やヨーグルト等の
軽食を提供した。今年度も、国産で出来るだけ安心な食材を使うように心がけた。

衛生

日々の清掃、各自の健康管理をしっかり行い、衛生管理の維持を行った
保健所の指示により、HACCPに沿った衛生管理として、
日々の衛生管理表を増やして衛生管理を行った。

食育

北海道野菜を活用したトマトジャム作りを幼児対象で行った
袋に入ったトマトを潰してもらいジャムに加工しておやつで全クラスに提供
普段、トマトが嫌いな子も食べてくれた

会議

給食室内では、翌月の献立検討会を毎月行い、行事食などについても話し合った
毎日、各クラスとの連絡を行っている

防災対策

非常食は、子どもと職員の分を3日分用意している
(離乳食用のベビーフードも備蓄した)

令和3年度 あおぞらぱれっと保育園事業報告

R4年度もコロナウィルス感染拡大予防をしながら緊張の保育運営となった。

しかし、前年度保育園生活でやむなく中止にした行事等を工夫しながらできる事が分かり、係を中心に話し合いを重ねてできた

事で子ども達や保護者に喜ばれた事は、職員にも大きな自信となった。

また第三者評価を受け、保護者の方の満足度が高かった事は、日頃の保育を丁寧に行ってきた事の自信に繋がったと嬉しいことであった。

それと合わせて結果が比例してこなければいけないはずの職員アンケートでは、上層部に対する不満や不安、不信感が浮き彫りになり早々に上層部で話し合い、しっかり向きあうために職員会議後に保育や保護者対応を丁寧に行っている事がしっかり伝わっている事に感謝し、上層部への思いを払拭してもらえる様、職員と真摯に向き合っていくことを伝えた。

前年度に引きつづき、課題も多いが、時には理事長に相談せずには職員間の信頼関係を築くこと、そして感謝の思いを伝えながら職場の雰囲気明るくしていきたいとあらためて反省と振り返りをした。

(1)施設の状況

(イ)園児数

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	6	15	18	22	22	22	105
目安定員	6	15	18	16	22	22	99
3月	6	15	18	16	22	22	99

(ロ)常勤職員 園長、主任保育士、栄養士、看護師、各1名
保育士15名、調理員3名 合計22名

(ハ)開所時間

11時間保育 午前7時～午後6時
延長保育 午後6時～午後7時

(2)児童の処遇

(イ)在籍児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5才	21	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	263
4才	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264
3才	20	21	20	20	19	18	17	16	16	16	16	16	215
2才	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
1才	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
0才	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
合計	102	104	103	103	102	101	100	99	99	99	99	99	1210

(ロ)延長保育契約数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1時間	18	18	18	18	18	17	18	16	19	17	15	18	210
	18	18	18	18	18	17	18	16	19	17	15	18	210

(ハ)しょうがい児数及び名簿

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5歳男児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3歳男児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

(ニ)保健管理

4月 ギョウチュウ検査

6月 歯科検診

二期 視力検査

毎月 健康診断(園医 江崎宗憲医師)

毎月 身体測定

毎月 布団乾燥

(ホ)安全管理

毎月 避難訓練

(ヘ)保護者会

4月 9月 2月

(ト)行事

4月	入園式、保護者会	11月	
5月	遠足	12月	子ども会
6月	歯科検診		
7月	プール開き	1月	新年子ども会
	お泊り会		
9月	防災引渡訓練	2月	保護者会(各クラスのみ)
	保護者会		お別れ遠足
10月	運動会(園内)		卒園式
	遠足		進級

毎月の行事

誕生会・アート指導・お茶の稽古

保健考察

○病欠状況

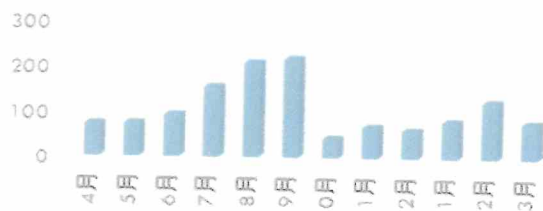
年間病欠者数は1295名であった。2021年度の841名に比べ約1.5倍増となっている。これは、年間を通した新型コロナウイルス感染者がいたことに加え、2021年度は感染が流行しなかった夏季の手足口病、ヘルパンギーナ、ヒトメタニューモウイルス感染症、また冬季のインフルエンザの感染者数が多くあったことを反映していると考ええる。飛沫感染、接触感染で広がる感染症はコロナ対策で減少していたものの、全国的なコロナの行動制限の緩和や解除に伴った、感染対策に対する意識の低下、気の緩みなどから感染が広がったことも一因と考える。また、乳児にとっては今年度の感染が生まれて初めてというケースも多くあったのではないだろうか。抗体をもたない、もっていても少なかった集団だったことでさらに感染しやすい状態を作り、感染拡大につながったとも考えられる。

2022年度は園として、運動会や保護者会、新入園児説明会等開催方法を変更した。参加する保護者数や時間をコロナ禍で縮小していたものを緩和し、保護者が参加できる形にした。その際これまで行ってきた感染対策である、換気や消毒、体調不良時の欠席等は継続し行った。その他に園児の生活の中では、食事時のパーティションの使用、手洗い時のペーパータオル使用、午睡時の互い違いにコットを並べ頭同士の距離を確保すること等も継続した。

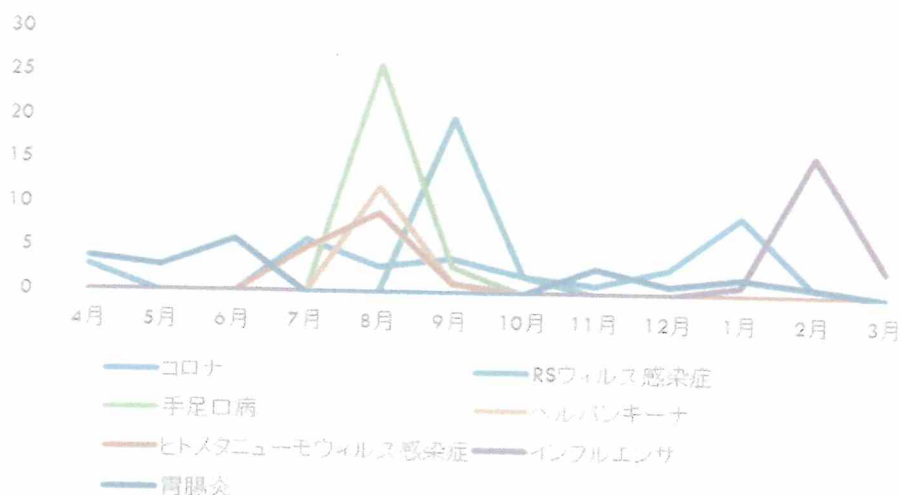
2022年度 新しく始めた感染対策と強化した感染対策への取り組み

- ・調理従事者への冬季(11~2月)のノロウイルス検査
- ・入職した職員対象に嘔吐処理方法のレクチャーを実施
- ・嘔吐物で汚染した食器の消毒方法の周知徹底
- ・次亜塩素酸ナトリウム希釈液の作成方法の周知徹底

2022年度 月別病欠数



2022年度 感染症別 感染者数



○事故報告

6件の事故報告があった。うち、医療機関受診は6件であった(整形外科3件、歯科2件、外科1件)。

それぞれ受診内容は、整形外科は転倒による手首捻挫、転倒による切傷、職員が手を引いた際の肘内障発症、歯科は転倒による歯の打撲、動揺、外科は他児とのトラブルでの切傷による受傷であった。

安全に配慮した室内での遊び方や過ごし方、廊下の歩き方等日頃から子どもたちへ繰り返し伝えていくことや、安全に配慮した環境作りへの取り組みを今後も継続していく。

また、6月に保護者が園内で体調を崩し、救急搬送されたことがあった。頭痛、胸痛、吐気、意識の低下等症状あり、救急車要請。脱水症状との診断。園児だけでなく、職員はもちろん保護者にも意識した安全対策を忘れてはならないと実感した。

2022年度 新しく始めた安全対策への取り組み

- ・園内外の安全点検の実施
- ・AED設置へ向けた準備
- ・各クラスへの非常持ち出し袋整備の準備
- ・熱中症対策 暑さ指数測定器"みはりん坊"の設置
- ・熱中症対策 戸外でのマスク着用の任意喚起
- ・プール監視員の配置場所の見直し

今後の課題

- ・事故報告、ヒヤリハット事例の共有を徹底することで、職員全体の危機管理意識の向上に繋げていく。

○研修報告

6月 プール講習

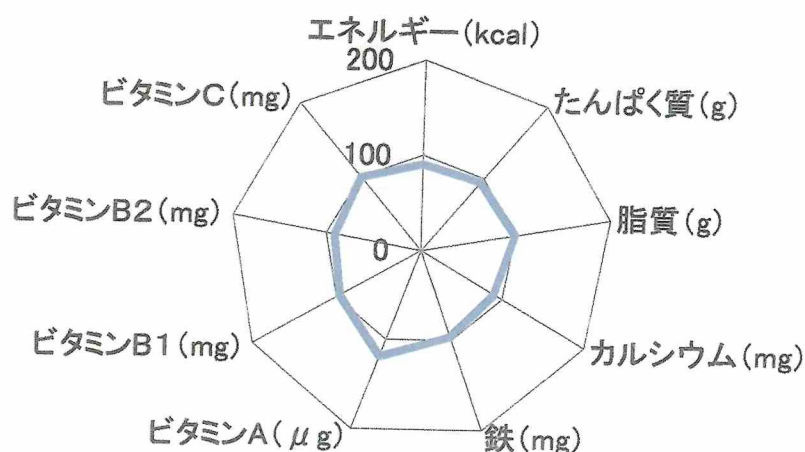
11月 救命講習・AED訓練

1月 喘息・食物アレルギー緊急時対応研修

栄養管理報告(R4.4~R5.3)幼児

3歳以上児	給与栄養 目標量	R4.4~R5.3平均 充足率(%)
エネルギー(kcal)	565	91
たんぱく質(g)	21.2	95
脂質(g)	16	100
カルシウム(mg)	212	90
鉄(mg)	2.3	96
ビタミンA(μg)	195	119
ビタミンB ₁ (mg)	0.37	96
ビタミンB ₂ (mg)	0.39	92
ビタミンC(mg)	43	99

炭水化物エネルギー比(%)	55	59
脂肪エネルギー比(%)	30	26



給与栄養目標に対する充足率(%)

- ・おおむねバランスよく摂取できた。
- ・カルシウムの摂取は、おやつに牛乳やチーズ、煮干しを足し、昼食のフルーツをヨーグルトに変更して補うようにした。また、ミルクスープで牛乳を使用したり、サラダにチーズを入れるなどして、摂取量を増やす試みを行った。
- ・幼児クラス(もり組・にじ組)では、子どもの食欲、体調により食べる量を大人が調整しているのので、数字はあくまでも平均値である。
- ・野菜類・果物類を多く取り入れているため、ビタミン類が多くなっている。野菜は苦手な子どもも多いため、様々な野菜を今後も取り入れていきたいと思う。
- ・炭水化物エネルギー比、脂肪エネルギー比は、適正であり、三大栄養素(炭水化物・たんぱく質・脂質)のバランスはとれている。

給食活動

献立

一汁二菜の和食系の献立を中心に提供した。

主食は乳児は白米・幼児は7分つき米に提供している。

汁物、副菜に野菜をふんだんに使用して、子どもたちにいろいろな食材を食べてもらえるように献立に組み込んだ。野菜は苦手な子どもも多いが、野菜の展示を行ったことにより、少しずつ食べられるようになった子どももいたので、継続していきたい。

行事食では、子どもたちに喜んでもらえる内容を検討し試食を行いながら進めていった。

1月～3月は、年長クラスより給食のリクエストをもらい、献立に組み込んだ。

3月には年長クラス対象に「お別れバイキング」を実施、子ども達に喜んでもらった。

日々、帰りがけの子供たちからも「今日もおいしかった」と声を掛けてくれることもあり、やりがいを感じている。

献立表は毎月各家庭に配布している。アレルギー児にも個別対応したものを配布している。

献立にはないが、遠足や特別の散歩の時など、お菓子を用意した。

毎月、各地域の郷土料理を取り入れた。

調理

日々の調理では、乳児食と幼児食とで味の塩分加減を調整して提供した。

サラダや和え物の野菜は今年度も大窯で「ゆでる亭」から、スチームコンベクションによる「蒸む亭」に変更した。蒸すことにより、野菜の栄養と甘みを保ち、提供することができた。

ガス台も調理が重ならずに行えるため、作業もスムーズに行えている。

各作業の分担表を作成し、毎日夕方のミーティング時に翌日の作業分担などを確認し、スムーズに業務が行えるようにした。

衛生

日々の清掃、各自の健康管理をしっかりと行い、衛生管理の維持を行った。

保健所の指示により、HACCPに沿った衛生管理として、日々の衛生管理チェック表を増やして衛生管理の確認を行った。

給食室内の換気扇、ダストの清掃を業者に依頼した。2年経ち油污れやほこりを綺麗に清掃して頂き、来年度も安全に調理業務を行っていきたい。

食育

給食室前に野菜の展示を行い、子ども達に野菜に触れる機会を設けた。感染症予防のため、展示野菜に触れる前・後のルールを決めて行った。

7月～8月頃は、幼児クラスで各クラスで育てた野菜を使い、炒めて試食した。

普段、野菜の苦手な子どもも一口ずつ試食していた。

6月、10月に保健と共同で「歯について」と「目について」の話を幼児クラス対象に行った。

給食からは、「歯に必要な食べ物」や「目によい食べ物」を子どもたちにお話した。

給食日よりでは、旬の野菜の亭や行事食の内容などを記載した。

1月に年長クラスで、おやつクッキー生地各自好きな形を作ってもらった。

次年度は、感染症の発生状況にもよるが、予防しながらでも可能な食育・クッキング活動を行っていかれたらと思う。

アレルギー

卵、牛乳・乳製品、小麦、ごまのアレルギー代替え食の提供を行った。

会議

給食室内では、翌月の献立検討会を毎月行い、行事食などについても話合った。
年に数回給食会議を行い、献立の検討・クラスとの連絡等を話し合った。
次年度は、開催回数をもう少し増やし、クラスとの連絡も密に行っていきたい。
Oオクラスとは、月一回連絡会を持ち、子ども一人ひとりの離乳食の進め方について話し合いを行った。

防災対策

非常食は、子どもと職員の分を3日分用意している。
(離乳食用のベビーフードも備蓄した)
熱源となる携帯型のガスコンロも購入した。

令和3年度 あおぞらルーム保育園事業報告

本年度より小規模保育園として新たな体制により保育を志すことになったが、コロナウイルス感染に伴う影響に苛まれる一年であった。特に2歳児の定員が埋まらないまま月日が過ぎたことは、運営上大きな課題であり、予想うがいの事態に頭を抱える日々が続いた。

一方、保育に関しては、1歳児中心の少人数での保育となり、250平米の室内を十二分に活用し、子どもたち一人ひとりに寄り添う究極の形での保育となった。保護者との関係性も同様に手厚い中で情報を共有することができ、小規模ならではの新しい保育の形が見えた一年でもあった。

(1)施設の状況

(イ)園児数

	1歳	2歳	合計
認可定員	6	6	12
目安定員	6	6	12
3月	6	6	12

(ロ)常勤職員 園長、保育士2名、非常勤2名

合計5名

(ハ)開所時間

午前8時～午後6時

(2)児童の処遇

(イ)在籍児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2才	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
1才	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
合計	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144

(ロ)保健管理

4月 ギョウチュウ検査

6月 歯科検診

毎月 健康診断(園医 江崎勝一医師)

毎月 身体測定

毎月 布団乾燥

(ハ)安全管理

毎月 避難訓練

(二)保護者会

4月 9月 2月

(ホ)行事

4月	入園式、保護者会
6月	歯科検診
7月	プール開始
9月	防災引渡訓練
	保護者会
2月	保護者会
3月	お別れ会

毎月の行事 誕生会・身体測定

(3)職員の待遇

(イ)健康管理

・健康診断 (田村クリニック)

全職員 検便・・・4月、10月

労務管理

(ロ)・社会保険に加入

・退職金(福祉医療機構・東京都社会福祉協議会に加入)

待遇

(ハ)・就業規則により処遇

福利厚生

(二)職員検診、細菌検査など

多摩市共済会に加入

(3) 職員の待遇

(イ) 健康管理

・健康診断 (田村クリニック)

全職員 検便・・・4月、10月

労務管理

(ロ) ・社会保険に加入

・退職金(福祉医療機構・東京都社会福祉協議会に加入)

待遇

(ハ) ・就業規則により処遇

福利厚生

(ニ) 職員検診、細菌検査など

多摩市共済会に加入